

『メディア向け洗堰見学会』を開催しました

～瀬田川洗堰の操作室やゲート設備を間近で見学～

- 河川管理施設を実際に見ていただくとともに、水系全体の河川改修の変遷や治水機能等の役割などを改めて確認していただくことで、出水時や渇水時の情報発信の一助となることを目的に、メディア向け洗堰見学会を開催しました。
- 見学後の意見交換会では、非常時におけるメディアへの情報提供方法や、環境に配慮した琵琶湖水位の管理等に関して、貴重な意見をいただきました。

日時：令和6年11月18日（月）15:00～17:30

場所：琵琶湖河川事務所

参加者：（メディア：NHK 天津放送局、（株）ZTV、（株）日本経済新聞社、（株）中日新聞社
行政機関：滋賀県 土木交通部 流域政策局、気象庁 彦根地方气象台、琵琶湖河川事務所）

計14名

瀬田川洗堰の見学



バイパス水路ゲート設備の見学



洗堰操作室の見学



意見交換



○メディアからの主な意見・感想

- 情報を遅延なく伝達できるように関係機関が連携できる仕組み作りが必要である。
- 非常時には通常の通信手段が使えない場合が考えられるため、防災無線を活用する等の特別な通信手段の確保や実際の使用方法を確認しておく必要がある。
- 昨年の琵琶湖水位の低下が関心を集めたが、「渇水」という言葉は琵琶湖が干上がった印象を受けた。大袈裟にならないように、例年より水位が低い等の表現がよいと思う。
- 魚類の生育環境のことまで考えて琵琶湖水位を管理していることを初めて知った。色々な取組をもっとアピールするとメディアも取り上げやすいと思う。
- 洗堰の放流量や琵琶湖水位だけでなく、どのような目的や意味をもって洗堰が操作されているかをきめ細やかに教えてもらえると情報を発信しやすい。

【問合せ先】

国土交通省近畿地方整備局
琵琶湖河川事務所 流域治水課
〒520-2279 大津市黒津4-5-1
TEL 077-546-0844

